

後見人体制と藩内の不和

仙台市博物館 学芸企画室 菅原 美咲

第4回

後見人政治の開始

3代藩主伊達綱宗の強制隠居により、幼少で4代藩主となった亀千代（後の綱村）を支えるため、伊達宗勝（伊達政宗十男）と田村宗良（伊達忠宗三男）を後見人とした藩政が始まりました。後見人は、幕府から將軍に直屬する直參大名に取り立てられました。一方で、領地は仙台藩六十二万石の内から三万石ずつを分けられた内分大名という立場にありました。この特殊な立場から、後見人たちの領地支配の権利をめぐる、仙台藩の奉行（藩政を取り仕切る役職で複数名任命された）を務めていた奥山常辰と、後見人の間で六力条問題といわれる対立が起きました。

六力条問題

この問題は、後見人が自らの領地での独立的な統治を強める六項目を求めたことが発端となりました。例えば仙台藩を介さずに後見人の領地内から直接將軍へ大鷹などを献上すること、各種の禁令を領民に知らせるために掲げる制札を本藩とは別に独自に立てることなどです。

不和と対立

かし奉行の奥山は、後見人の領地内についても、本藩が権利を持つべきだととして、幕府老中酒井忠清らに訴えます。老中は奥山の主張を認め、旧例どおりと命じたことから、後見人と奉行の間の溝が深まりました。

その後も仙台藩政の運営をめぐるさまざまな不和と対立が続きます。奉行たちの不和と度重なる交代、後見人の間での意見の対立、奉行など藩政執行部に対する重臣層からの批判の高まりといった状況のなか、宗勝は奉行に対して藩政運営や日常生活に対する注意事項の条目を発し、次第に藩政運営への関与を強めていきます。さらに目付を重用し、権限を拡大させます。目付は藩士を監視・監察する役割を持ちましたが、奉行に対する監察権を強め、目付の威勢が奉行を越えるようになりました。藩士の里見重勝が目付を重用する宗勝を厳しく批判しますが、状況は改善しませんでした。さらに奉行の原田宗輔は宗勝に通じたため、奉行の間の結束もままなりません。

仙台城での席次問題

そうしたなか、幕府から仙台藩に派遣されていた国目付を仙台城で供応する行事での席次をめぐる問題が発生します。役職と家格の順であった席次が無視され、着座という家格で三番目に来るべき古内重定と伊東重門の席次が、目付や奉行原田の嫡子よりも後ろにされました。家格は当時の武士にとつて重要な秩序であり、それを無視されたことは屈辱的なことでした。これに対し、親族の伊東重孝らが行事を差配した奉行らを激しく批判、その後伊東重孝・重門は宗勝の暗殺計画を立てたとして厳しい処分が下されます。こうした藩内の不和や混乱はその後も続いていきます。



徳川家綱領知判物 仙台市博物館蔵 幕府が亀千代に与えた仙台藩領62万石から3万石ずつを後見人に分けることが記されている。

刊行物のご紹介



「仙台市史」活用資料集vol.2～8

『仙台市史』の中から区ごとの歴史を取りあげ、コンパクトに紹介しています。仙台の歴史をさらに深く知るためのヒントが満載です。

- vol.2 若林区の歴史探し
 - vol.3 泉区の歴史探し
 - vol.4 宮城野区の歴史探し
 - vol.5 太白区の歴史探し-西部-
 - vol.6 太白区の歴史探し-東部-
 - vol.7 青葉区の歴史探し-西部-
 - vol.8 青葉区の歴史探し-東部-
- 各巻600円(税込)
A4 / オールカラー / 16ページ (vol.8のみ24ページ)
※「vol.1 授業で使える仙台の歴史余話」は完売しました

お求めはこちら

カネイリ ミュージアム ショップ
KANEIRI Museum Shop 6

所在地: 仙台市青葉区春日町2-1
せんだいメディアテーク1階
営業時間: 10時～20時 (毎月第4水曜日休)
電話番号: 022-714-3033

市政情報センター

所在地: 仙台市青葉区国分町3-7-1
仙台市役所2階
開館時間: 9時～17時 (土・日・祝・毎月第4水曜日休)
電話番号: 022-214-1239



その他の刊行物の紹介や、購入方法は博物館ホームページでご案内しています

仙台市博物館
SENDAI CITY MUSEUM

▶ 博物館ホームページ [仙台市博物館](#) 検索 ▶ お問い合わせ @sendai_shihaku

〒980-0862 仙台市青葉区川内26番地(仙台城三の丸跡)
TEL: 022-225-3074 8:30-17:15 ※土・日・祝休日を除く

※当館は現在、大規模改修工事のため休館しています。令和6年4月に再開予定です。